

【表紙】

| | |
|------------|---|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成27年8月7日 |
| 【四半期会計期間】 | 第65期第1四半期（自平成27年4月1日至平成27年6月30日） |
| 【会社名】 | 大成温調株式会社 |
| 【英訳名】 | TAISEI ONCHO CO., LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 水谷 憲一 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都品川区大井一丁目47番1号 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。） |
| 【電話番号】 | 該当事項はありません。 |
| 【事務連絡者氏名】 | 該当事項はありません。 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都品川区大井一丁目24番5号 |
| 【電話番号】 | (03)5742-7301(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 上席執行役員 管理統括部長 河村 和平 |
| 【縦覧に供する場所】 | 大成温調株式会社横浜支店 （横浜市中区太田町六丁目84番地2） 大成温調株式会社大阪支店 （大阪府中央区北浜三丁目6番13号） 大成温調株式会社名古屋支店 （名古屋市中区錦三丁目6番34号） 大成温調株式会社関東支店 （さいたま市北区宮原町二丁目34番地3） 大成温調株式会社東関東支店 （千葉県中央区新町3番地7） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第64期 第1四半期 連結累計期間 | 第65期 第1四半期 連結累計期間 | 第64期 |
|---|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成26年4月1日 至平成26年6月30日 | 自平成27年4月1日 至平成27年6月30日 | 自平成26年4月1日 至平成27年3月31日 |
| 売上高 (千円) | 8,552,016 | 9,329,710 | 54,068,024 |
| 経常利益又は経常損失 () (千円) | 446,052 | 85,602 | 395,807 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失 () (千円) | 288,231 | 45,019 | 433,227 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 356,491 | 166,581 | 394,816 |
| 純資産額 (千円) | 17,755,476 | 18,473,960 | 18,503,732 |
| 総資産額 (千円) | 38,304,008 | 38,160,496 | 41,783,298 |
| 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期(当期)純損失金額 (円) | 22.03 | 3.44 | 33.13 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 46.3 | 48.4 | 44.3 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第64期第1四半期連結累計期間及び第64期については1株当たり四半期(当期)純損失金額であり、潜在株式が存在しないため、また、第65期第1四半期連結累計期間については潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、当第1四半期連結累計期間より、「四半期純利益又は四半期(当期)純損失()」を「親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失()」としております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

(1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や好調な株式市場等により、企業の収益改善や雇用情勢が回復する等、日本国内の景気は緩やかな回復基調を維持したものの、ギリシャの債務問題、中国経済の減速等、経済に多大な影響を与えかねないリスク要因も存在し、依然として不透明感を払拭できない状況が続いております。

当社グループの建設業界におきましては、公共投資は減少傾向に転じながらも高水準を維持し、民間設備投資は企業収益が改善するなかで緩やかな増加基調にある一方、急激な需給バランスの変化による労働力不足や、建設資材の高騰による事業収益の圧迫等により、経営環境は依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、成長戦略“Decade Strategy 2020”の基本理念である、「人づくりの会社としての成長」を主眼におき、「受注・売上の一層の強化」、「生産性・利益率の向上」、「経営基盤の整備」といった施策を積極的に展開し、1人あたり生産性の向上とグループ全体の利益成長の両立を目指してまいりました。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の受注高は前年同四半期比11.6%増の166億83百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は93億29百万円（前年同四半期比9.1%増）となり、営業損失は1億79百万円（前年同四半期は営業損失5億0百万円）、経常損失は85百万円（前年同四半期は経常損失4億46百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は45百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億88百万円）となりました。

当社グループの売上高は、通常の営業形態として、連結会計年度末に完成する工事の割合が大きくなる傾向があり、一方、販売費及び一般管理費などの固定費は各四半期にほぼ均等に発生するため、利益が連結会計年度末に偏るという季節的変動があります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

日本

売上高につきましては70億3百万円（前年同四半期比13.2%増）となり、セグメント損失は1億24百万円（前年同四半期はセグメント損失4億42百万円）となりました。

米国

売上高につきましては15億25百万円（前年同四半期比26.7%増）となり、セグメント損失は28百万円（前年同四半期はセグメント損失85百万円）となりました。

中国

売上高につきましては6億46百万円（前年同四半期比35.0%減）となり、セグメント損失は23百万円（前年同四半期はセグメント利益19百万円）となりました。

インド

売上高につきましては56百万円（前年同四半期比2.8%減）となり、セグメント損失は10百万円（前年同四半期はセグメント損失12百万円）となりました。

フィリピン

売上高につきましては97百万円（前年同四半期比10.6%減）となり、セグメント利益は7百万円（前年同四半期比61.7%減）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題はございません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発費は15百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 55,000,000 |
| 計 | 55,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成27年6月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成27年8月7日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|----------------------------|------------------------------------|-----------------|
| 普通株式 | 14,364,975 | 14,364,975 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数 1,000株 |
| 計 | 14,364,975 | 14,364,975 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額 (千円) | 資本準備金残 高 (千円) |
|--------------------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成27年4月1日～ 平成27年6月30日 | - | 14,364,975 | - | 5,195,057 | - | 5,086,553 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成27年6月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------------------|----------|------------------|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 1,291,000 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 12,959,000 | 12,959 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 114,975 | - | 1単元(1,000株)未満の株式 |
| 発行済株式総数 | 14,364,975 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 12,959 | - |

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式885株が含まれております。

【自己株式等】

平成27年6月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有 株式数(株) | 他人名義所有 株式数(株) | 所有株式数の 合計(株) | 発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%) |
|----------------------|----------------------|------------------|------------------|-----------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 大成温調株式会社 | 東京都品川区大井 一丁目47番1号 | 1,291,000 | - | 1,291,000 | 8.99 |
| 計 | - | 1,291,000 | - | 1,291,000 | 8.99 |

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に準拠して作成し、「建設業法施行規則」（昭和24年建設省令第14号）に準じて記載しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、優成監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金預金 | 8,311,063 | 12,060,512 |
| 受取手形・完成工事未収入金等 | 18,853,901 | 11,907,843 |
| 電子記録債権 | 1,190,316 | 1,441,355 |
| 有価証券 | 114,182 | 60,113 |
| 未成工事支出金 | 1,391,917 | 1,991,120 |
| 商品 | 12,669 | 17,643 |
| 原材料 | 140,794 | 127,384 |
| 繰延税金資産 | 369,753 | 370,685 |
| その他 | 2,810,922 | 2,143,747 |
| 貸倒引当金 | 158,808 | 160,944 |
| 流動資産合計 | 33,036,712 | 29,959,462 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物・構築物 | 4,273,326 | 3,665,684 |
| 機械、運搬具及び工具器具備品 | 1,841,761 | 1,828,288 |
| 土地 | 1,987,841 | 1,880,293 |
| その他 | 124,081 | 124,081 |
| 減価償却累計額 | 3,407,827 | 3,110,049 |
| 有形固定資産合計 | 4,819,183 | 4,388,298 |
| 無形固定資産 | 116,104 | 109,837 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,802,878 | 2,734,477 |
| 長期貸付金 | 475,040 | 474,814 |
| 繰延税金資産 | 104,072 | 73,617 |
| その他 | 1,405,867 | 1,396,456 |
| 貸倒引当金 | 976,562 | 976,466 |
| 投資その他の資産合計 | 3,811,297 | 3,702,899 |
| 固定資産合計 | 8,746,585 | 8,201,034 |
| 資産合計 | 41,783,298 | 38,160,496 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形・工事未払金等 | 17,559,541 | 13,938,130 |
| 短期借入金 | 724,678 | 1,019,890 |
| 未払法人税等 | 277,509 | 212,528 |
| 未成工事受入金 | 1,590,993 | 1,646,915 |
| 賞与引当金 | 279,987 | 151,384 |
| 完成工事補償引当金 | 48,549 | 47,963 |
| 工事損失引当金 | 565,862 | 515,613 |
| 訴訟損失引当金 | 50,000 | 30,000 |
| その他の引当金 | 2,698 | 4,699 |
| その他 | 1,088,209 | 975,305 |
| 流動負債合計 | 22,188,029 | 18,542,431 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,196 | 2,074 |
| その他の引当金 | 80,982 | 83,441 |
| 退職給付に係る負債 | 857,729 | 887,509 |
| その他 | 150,626 | 171,079 |
| 固定負債合計 | 1,091,535 | 1,144,104 |
| 負債合計 | 23,279,565 | 19,686,536 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,195,057 | 5,195,057 |
| 資本剰余金 | 5,087,248 | 5,087,248 |
| 利益剰余金 | 7,736,510 | 7,585,425 |
| 自己株式 | 386,829 | 387,079 |
| 株主資本合計 | 17,631,986 | 17,480,652 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 566,888 | 691,203 |
| 為替換算調整勘定 | 400,010 | 392,827 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 95,153 | 90,723 |
| その他の包括利益累計額合計 | 871,745 | 993,307 |
| 純資産合計 | 18,503,732 | 18,473,960 |
| 負債純資産合計 | 41,783,298 | 38,160,496 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) |
|---|---|---|
| 売上高 | | |
| 完成工事高 | 8,373,143 | 9,115,489 |
| その他の事業売上高 | 178,873 | 214,221 |
| 売上高合計 | 8,552,016 | 9,329,710 |
| 売上原価 | | |
| 完成工事原価 | 7,782,370 | 8,177,803 |
| その他の事業売上原価 | 130,530 | 169,274 |
| 売上原価合計 | 7,912,901 | 8,347,077 |
| 売上総利益 | | |
| 完成工事総利益 | 590,772 | 937,686 |
| その他の事業総利益 | 48,342 | 44,946 |
| 売上総利益合計 | 639,115 | 982,633 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,139,314 | 1,162,181 |
| 営業損失() | 500,199 | 179,548 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 18,167 | 26,495 |
| 受取保険金 | 27,324 | 61,028 |
| 持分法による投資利益 | 22,968 | 1,040 |
| 為替差益 | - | 1,699 |
| 貸倒引当金戻入額 | 1,526 | - |
| その他 | 12,358 | 12,444 |
| 営業外収益合計 | 82,346 | 102,708 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4,184 | 5,785 |
| 為替差損 | 14,358 | - |
| 工事補修費 | 9,630 | 2,078 |
| その他 | 25 | 898 |
| 営業外費用合計 | 28,199 | 8,762 |
| 経常損失() | 446,052 | 85,602 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | - | 218,464 |
| 特別利益合計 | - | 218,464 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | - | 825 |
| 特別損失合計 | - | 825 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失() | 446,052 | 132,037 |
| 法人税等 | 165,253 | 87,017 |
| 四半期純利益又は四半期純損失() | 280,798 | 45,019 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 7,432 | - |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失() | 288,231 | 45,019 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失() | 280,798 | 45,019 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 29,365 | 124,315 |
| 為替換算調整勘定 | 93,616 | 4,230 |
| 退職給付に係る調整額 | 5,492 | 4,429 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 16,934 | 2,952 |
| その他の包括利益合計 | 75,692 | 121,562 |
| 四半期包括利益 | 356,491 | 166,581 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 363,760 | 166,581 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 7,268 | - |

【注記事項】

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

当社グループの売上高は、主たる事業である設備工事業において、契約により工事の完成引渡し第4四半期連結会計期間に集中しているため、第1四半期連結会計期間から第3四半期連結会計期間における完成工事高に比べ、第4四半期連結会計期間の完成工事高が著しく多くなるといった季節的変動があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) |
|-----------|---|---|
| 減価償却費 | 53,300千円 | 63,511千円 |
| 負ののれんの償却額 | 4,520 | - |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成26年6月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 170,064 | 13 | 平成26年3月31日 | 平成26年6月30日 | 利益剰余金 |

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成27年6月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 196,103 | 15 | 平成27年3月31日 | 平成27年6月29日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|-----------|-----------|---------|--------|---------|-----------|------------|-----------|
| | 日本 | 米国 | 中国 | インド | フィリピン | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,185,757 | 1,204,332 | 994,900 | 57,667 | 109,358 | 8,552,016 | - | 8,552,016 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 6,185,757 | 1,204,332 | 994,900 | 57,667 | 109,358 | 8,552,016 | - | 8,552,016 |
| セグメント利益又は損失() | 442,198 | 85,279 | 19,391 | 12,242 | 20,362 | 499,967 | 282 | 500,249 |

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、豪州の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 損失() | 金額 |
|--------------------|---------|
| 報告セグメント計 | 499,967 |
| 「その他」の区分の損失() | 282 |
| セグメント間取引消去 | 50 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失() | 500,199 |

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|-----------|-----------|---------|--------|--------|-----------|------------|-----------|
| | 日本 | 米国 | 中国 | インド | フィリピン | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,003,550 | 1,525,308 | 646,986 | 56,050 | 97,814 | 9,329,710 | - | 9,329,710 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 7,003,550 | 1,525,308 | 646,986 | 56,050 | 97,814 | 9,329,710 | - | 9,329,710 |
| セグメント利益又は損失() | 124,798 | 28,523 | 23,195 | 10,398 | 7,802 | 179,113 | 287 | 179,400 |

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、豪州の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 損失() | 金額 |
|--------------------|---------|
| 報告セグメント計 | 179,113 |
| 「その他」の区分の損失() | 287 |
| セグメント間取引消去 | 147 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失() | 179,548 |

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) |
|--|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額() | 22円03銭 | 3円44銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は親会社株主に帰属する四半期純損失金額()(千円) | 288,231 | 45,019 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は親会社株主に帰属する四半期純損失金額()(千円) | 288,231 | 45,019 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 13,080 | 13,073 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、前第1四半期連結累計期間については1株当たり四半期純損失金額であり、潜在株式が存在しないため、また、当第1四半期連結累計期間については潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年 8月 6日

大成温調株式会社

取締役会 御中

優成監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 加藤 善孝 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 本間 洋一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている大成温調株式会社の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、大成温調株式会社及び連結子会社の平成27年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。